

● Photo sketch ●



10/30 きれいって気持ち良い

東濃特別支援学校高等部の3年生19人が、同校の教職員や土岐青年会議所のメンバーらと土岐市駅駐輪場や地下道などの駅周辺の清掃活動に励みました。
 今回で4回目となるこの活動は、同校が地域の方と交流し、生徒に社会の一員としての自覚や社会性を育むことなどを目的として行われています。生徒らは4つのグループに分かれ、掃き掃除のほか空き缶、ペットボトル、吸い殻などを拾い集め、「隅々まで掃除できた。駅の利用者が増えればうれしい」と話してくれました。



10/31 11/1 プロから学ぶ、心と技

泉小学校5年生113人が、職場体験学習を行いました。児童らはグループに分かれて、製陶所やデイスサービスセンター、理髪店など市内14の事業所を2日間にわたり訪れ、仕事への理解を深めました。
 中部国際自動車大学校には、児童17人が訪問。各国の自動車メーカーのエンブレムや社名の由来、自動車の構造などを学び、エンジンの分解や組み立てにも挑戦しました。児童らは初めて使う工具に手間取りながら、真剣な眼差しで取り組んでいました。



11/9 新庁舎建設工事が始まりました

新庁舎建設工事安全祈願祭が現庁舎南側の新庁舎建設予定地で開かれ、工事関係者ら約60人が出席し工事期間中の安全を祈願しました。
 今後のスケジュールは、平成30年の年末に新庁舎への移転を行い、平成31年の1月に新庁舎を開庁する予定です。旧庁舎の解体工事などを含め、新庁舎建設事業の全ての完了は平成31年10月を予定しています。



11/9 国体での大健闘をたたえて

9～10月にかけ愛媛県で開催された国民体育大会、全国障害者スポーツ大会で好成績を収めた選手らが、入賞報告のため市役所を訪れました。
 馬術少年二段階障害飛越で、県勢初となる優勝を果たした小栗麻莉乃さん(写真右から2人目)は、「1日目の失敗を受け、2日目は強気で行こうと臨んだ。愛馬のマリアンモナークが助けてくれました」と優勝の喜びを語ってくれました。



まるで紅葉の滝のような木々

11/10 19 水鏡に魅せられて

今回で19回目となる「曾木公園もみじライトアップ」が、11月10日～19日の10日間にわたり行われました。
 地域住民で構成する実行委員会が主催し、毎年、県内外から多くの観光客が詰め掛ける、市の観光名所の一つです。
 訪れる人々は、ライトに照らされ水面に映し出される色鮮やかな光景に「池に吸い込まれそう、鏡を見ているようだ」など賞賛の声を上げ、スマートフォンやカメラなどを手に撮影を楽しんでいました。



色付いた紅葉を映し出す池



10/28 29 “どえらあええ”下石の力

今年で21回目となる「下石どえらあええ陶器まつり」が2日間にわたり開催され、市内外から訪れた多くの家族連れなどでにぎわいました。今回はあいにくの天気でしたが、煙突のある町並みを散策する「窯元めぐり」や、陶工の技を熱演する「陶芸ライブ」、もろ板(普段工場で使う運搬用の板)に、窯元自慢の製品や一点物の製品を並べた「窯元もろ板陶器市」、家族で楽しめる「絵付け体験」など、各ブースがお祭りを盛り上げ、来場者は休日のひとときを楽しんでいました。



10/28 ママじゃなくても大丈夫!

普段の暮らしの中で母親を助ける父親を応援しようと、「パパと子どもの親子クッキング」が肥田公民館で開催されました。この日の料理は、里芋の炊き込みご飯、けんちん汁、柿とキウイの白和え、スイートポテトの計4品。
 参加した父親は「自分が知らないうちに奥さんに申し込まれて参加したが、子どもと料理することは楽しかった。今日をきっかけに家庭でも料理してみようと思う」と頼もしい話してくれました。